



ふたば

No.11

令和7年2月28日
清新ふたば小学校
学校長 三柴 祐子

あたたかな心を育む

2月20日(木)に、長縄集会有りました。回転している長縄を1回跳んだら次の人が跳ぶ…これを3分間で何回跳べるのか、各学級で目標を立てて取り組む集会です。本番に向けた数週間を長縄週間として、各学級で練習を重ねて本番を迎えました。練習の初めのころは、お互いの息がちぐはぐで、すぐに引っかかってしまったり、3分間あっても数回しか跳べなかつたり…。毎年行われる集会ではありますが、学級のメンバーが変われば不思議と練習の空気感も記録も変わります。そして、子どもたち全員が得意なわけではありません。だからこそ学校全体で取り組む良さがあります。初めは回転する縄を跳べなかつた子どもたちも、先生や友達の助けを借りながらだんだんとタイミングを見ながら跳べるようになってきました。跳べなかつた子どもが跳べるようになった時の笑顔は、とても輝いています。一生懸命であるあまり少し強めの言葉かけをしてしまう子どももいますが、「ミスを責めても記録にはつながらない、励まし合うことこそ大切」ということを肌で感じ、次第に柔らかな言葉になってきました。チームワークや思いやり、友達とのかかわり方などを、長縄週間を通して子どもたちが学ぶことができました。記録が伸び悩んでいた学級が学級新記録を出せた時には私も嬉しかったです。子どもたちが喜び合う歓声が、校庭に響き渡りました。

2月27日(木)は6年生を送る会でした。5年生が会を仕切り、全校児童が体育館に一堂に会して行いました。1年生はお世話になった6年生と玉入れ対決。2～4年生は学年ごとに、クイズや寸劇の後、趣向を凝らした6年生を応援するパワー全開のダンス。6年生も大喜びで笑顔があふれていました。学年の出し物の最後は、5・6年生による合奏。本番に向けて、練習も2学年が一緒に行っていました。合奏を通して、最高学年のバトンを渡しているように見えました。合奏が終わった後、自然と体育館から「アンコール、アンコール」の声と手拍子が鳴り、あらためて、今度は6年生だけが下級生のために演奏し、下級生も手拍子でその思いに応えました。全員合唱「また逢う日まで」では、6年生と1～5年生の歌声が掛け合いのようになっており、お互いの思いが共鳴しているようでした。子どもたちの心が一つになっている様子に感動しました。

学校の教育活動は教科の学びだけではなく、好ましい人間関係を築いていく上で大切な「思いやりの心」「あいさつ」「感謝の気持ち」などをはぐくむ場でもあります。子どもたちは、時には間違った行動をしてしまうことがあるかもしれませんが、それを過ちであるということを知り、修正する努力ができることも大切だと考え、日々指導してまいりました。保護者や地域の皆様におかれましては、子どもたちの成長を願い、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきましたことに、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。次年度も、より充実した教育活動になるよう努めてまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【離任式について】

東京都教育委員会からの通知を受け、今年度も離任式を年度内に実施いたします。通知によると、目的は「年度内(春季休業日前)に、教員と児童等がお別れの機会をもてるようにするため」となっています。御理解のほど、よろしくお願いいたします。

日にち:3月25日(月) 朝会時:修了式、4校時:離任式